

社団法人 豊中市シルバー人材センター機関誌

ふれあい 第7号

豊中市北桜塚2丁目2番1号

編集・発行

社団法人 豊中市シルバー人材センター

TEL (06)856-1777(代)



北条の五百羅漢さん (会員バスツアーにて撮影)

昭和63年度

通常総会

日程決まる!!

とき 昭和63年5月20日(金)

午前10時から

ところ 豊中市民会館大集会室

みんなの総会です。

総会には必ず出席しよう。

会員登録をお忘れなく

四月は登録の

更新時期です

◎昭和63年度の会員登録を引き続き希望される方は、新たに更新手続きが必要です。必ず左記の手続きを済ませて下さい。

▲手続きの方法

会員証と年会費六〇〇円を添えて、事務局まで、ご本人がお越し下さい。

(どうしても都合のつかない方は、事務局まで、ご連絡下さい。)

なお、退会希望の方は、ご面倒でも、会員証と退会届をご提出下さい。

心に残る羅漢たち

初の会員バスツアー終る

バスツアーに参加して

山 路 政 市

第一回のバスツアー(晩秋の十一月二十六日兵庫県塩田温泉日帰りの旅)に参加、当日は好天に恵まれ出発を待つ会員さんの顔もほころび楽しそうに見える。日本観光の二階バスに、全員揃ったところで市役所前を出発する。

バスは池田ICから中国自動車道に乗り一路塩田温泉へひた走る。滝野社ICより国道一七五号線を経て国道三七二号線に入る。バスの窓から外に目をおとすと、走り去る町並みに色付いた柿の実が花のように美しい。約二十分位走ったところで、加西市にある兵庫県フラワーセンターを見物する。広大な公園は色鮮やかなパンジーなど草花の植付けの最中で春には花の競演が見られることであろう。また、温室には華麗なる球根ベコニヤの大輪、カトレヤなどのラン科植物のほかハイビスカスなどの熱帯花木が多く、あまりの素晴

らしさに我を忘れる。

中央花壇の花時計周辺では男女を問わず会員の皆さんがカメラにポーズしている光景はシルバーを忘れる程に生き生きとしている。そこから程近い所にある加西市指定文化財の石仏「五百羅漢」を見学する。「いつ頃 だれが何のために」一。色はさび、姿は風化して趣き深く、昔日の信仰が静かに息づいている。

三十分位走っただろうか、目的地塩田温泉に着く。早速温泉に入り手足を存分に伸している。湯のぬくもりが体をめぐり、気分は最高。その心地の良さにすい込まれていく。

大広間に全員揃ったところで、杉本理事の挨拶で昼食会が始まる。和気藹藹として酒が入るに従い話し声と笑いが入り混って聞こえてくる。次から次と舞台に立ち自慢の喉を披露する。和やかな雰囲気の中に昼食会の時間もつかのまに過ぎ、名残り惜しく塩田温泉を後にする。

別れ際に会員が相互に健康をいたわりながら「来年もまた元気で逢いましょう。」事務局がこうしたバスツアーを企画してくれることを願って。今回のバスツアーが会員相互の親睦に意義深いものがあつたことを痛感する次第です。

最後になりましたが、出発から帰豊解散まで、会員の皆さんの健康状態を見守っておられた事務局の局長始め職員方々の御配慮に心からお礼申し上げます。

日帰り旅行に参加して

黒 岩 秀 子

「昔、昔」遠足の前夜妙に心が華やいで、寝つかれなかつた遠い幼い頃と同じ思いで、早朝より起き出した。二階建バスは、坐席もゆったりとして、心地よくゆられながら、きれいに刈り取られた田圃、すっかり紅葉した晩秋の景色をながめ、中国自動車道を一路羅漢寺へ。通称五百羅漢。

いつ頃、誰の手によって刻れたか、一切不明。一体一体のお姿が何んと素朴な、ほほえましい石仏群。

「道ばたで 何を思うや 石仏」自作

「加西フラワーセンター」多彩な花々に思わず感歎の吐息が出る程。手入の行き届いた美しい花壇、庭園、熱帯植物の咲き乱れる温室、池に遊ぶ水鳥のむれ、ここで一同少々気取ったポーズでカメラにおさまる。

塩田温泉に到着。早速温泉に浸ってサッパリする方、部屋でゆっくりくつろぐ方、三々五々、この頃になると、皆、心もうちとけて、仲間同志という気易さも加わり、更に適當の空腹も手伝って、和気藹藹の雰囲気の中に、やがて会食が始まる。局長様のご挨拶に続いて有志各位のカラオケにも一同惜しめない拍手を送る。日頃の疲れ、ストレスを忘れ、それぞれのグループで語り合い、盃をかわし、時間の過ぎるのも忘れる。食事の内容も結構でお土産まで用意され恐縮。本当に幸せな一日を過ごしました。

このような機会を作っていただいた局長様はじめ次長様、当日何くれとなってお世話下さいました中井様、田辺様、その他役員の皆様が心からお礼申し上げます。

次回にもまた参加できますことを祈りながら拙ない文章のペンを置きます。

楽しかった一日

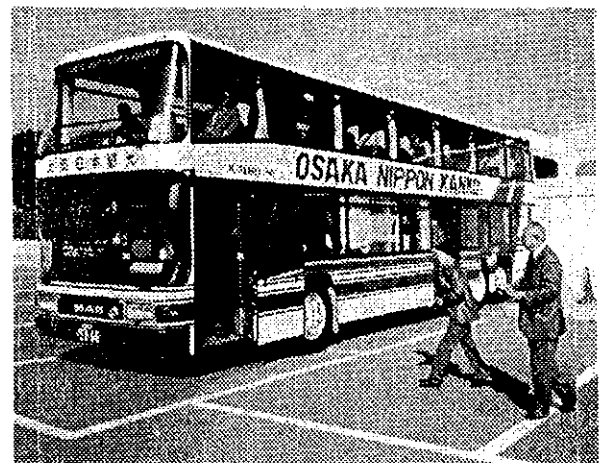
山田 英明

昨年十一月二十六日シルバー人材センターの親睦会バスツアーに初参加で、日頃お顔を拝見することのできない他の部署の会員の方々に親しく接することができて嬉しく思ったのは自分だけではないと思う。定刻に出発したバスは二階建ての豪華なもので、初めて経験した。自分は二階の片隅に席を取って外の景色に見とれていると後の席から「爛番娘」が回って来た。自分は車中の飲食物は何も用意して来なかったので受け取るのに一寸躊躇していたが、「どうぞ」とすすめられるままにいた

だくことにした。バスは中国道を一路フラワーセンターへと走り続ける。人材センターの職員の方々が、なにかと世話をしてくれて楽しさが倍増した。フラワーセンターの印象は、温室に咲く洋らん類、中でも球根ベゴニアの咲き競う華麗な色彩となんとなく漂う芳香がフラワーセンターの代表的なものであった。五百羅漢は二体と同じ表情の地蔵はなかった。その一つひとつの違った羅漢の頭の上に、先に訪れ

た参拝客が乗せた一円硬貨が落ちまいと必死に羅漢の頭にしがみついているのがその羅漢の表情にも似て苦笑するが、まだ頭の上に乗っているのは、いいほうで、なにかのはずみで下にずり落ちた硬貨は哀れである。それを拾って羅漢の頭の上に乗せる人がいないのだから一円硬貨は大へんである。

塩田温泉の歓迎アーチをバスで潜って目的のホテルに到着。人材センターの職員の誘導のもとに宴会場へ、風呂へと、言われるままに動いておれば良い我々と違って、職員の方々は大へんである。宴会を盛り上げるため、まめまめしく動いていたのは、頭が下る。宴会も最高潮に盛り上がり下手な唄好きが何度もマイクを握りに出て青筋を立てたこと反省しつつ、帰りのバスに身を委ね、午後四時頃だったか、出発場所へ帰って来た。局長以下職員各位の健気なサービスに感謝しつつ、次の旅行は一泊二日で行けたらと、夢をふくらませながら家路へとペダルを踏んだ。



ウキウキバス旅行

志賀 貞子

今年は記録的な暖冬と云われています。みなさまお元気ですか。昨秋のバスツアーは本当に楽しかったですね。青い空と燃えるような紅葉の美しさは、今も目に浮びます。久しぶりに感動を味わいました。夢のような花園フラワーセンターでは世界のおもだった花々、そして日本の代表的な品種が見事に咲きほこって、その規模の大きさに目をみはりました。とに角美しいの一語に

つきます。

五百羅漢では、お互に銘々の父の顔に似た石佛を探すことになったけど30分間では仲々みつからず程々に妥協して、わが亡き父に似ていそうな像をみつめながら一人で納得し、きつと平静な老後がすぐせらるうと期待しながらバスに乗った。目的地の塩田温泉に到着し、温泉入浴は自由。しばらくひと休みで、次は美味しいと馳走と適当なアルコール分が会場を打ちとけさせてくれ、陽気なものでした。お仲間の方々の美声も沢山聞かせて頂き、ウキウキ気分全員同期の桜を唱って再び帰路のバスにのった。晩秋の夕日を背にしてバスは、まっしぐらに走り、だれ一人として気分のわるくなつた方も出なくて元気に市役所前に到着でき、本当によかった。「またお会いしましょうね」と、口々に云いながら去りがたう感を残して家路につきました。

このバスツアーに物心両面で多大のご尽力を下さいました事務局の方々、そしてお仲間の方々におそくなつてしまったけれど厚くお礼を申し上げます。本当にありがとうございました。

今年も元気ががんばりましょう、一九八八年に心をこめて乾杯！



話弾んだバス旅行

野口 高茂

二階建ての豪華なサロンカーに朝からいゝ気分、天気もよく晴れやかな旅立ち。まず、お世話下さった方々の心づかいに感謝。交通渋滞がなく早く着きすぎたお蔭で二階一番前に坐ることができました。かねてから一度坐ってカメラ……と思っていましたので、思わぬ機会に恵まれ希望が満されご満悦!! 流れゆく紅葉の秋景色を眺めつゝ、コーヒーやお菓子の接待を受け、タバコの味も格別、パチパチと撮り続けました。まことに快適なバスの旅。

車中は初めての方ばかりですが、さすが仕事を通して社会との繋がりの中に生きようと考えておられる方々だけに、健康で明るく、すっかり打解け、話が弾みます。

フラワーセンターでは、温室に咲き乱れる花に囲まれ、自づと心がなごみます。人と車の氾濫、人工都市に生きていると、すっかり歪められてしまっただ和やかさ、やさしさが甦ってまいります。鏡のような湖面、のどかに泳ぐ白鳥すべてよし。花時計の前にて全員記念撮影、お互いに話はずみ親し

みの輪が広がりました。

五百羅漢の石仏に、石仏の冷たさはなく、生きている人のような温かさを覚え、両親や故人の顔を探しつつも自分もよき顔にならねばと思いつゝ合掌しました。

政府登録国際観光旅館『夢乃井』一番立派なホテルにて入浴。昼間からお風呂に入って勿体ないことです。少しぬる目のお湯まで、われわれの健康に気をつかってくれているようで、さっぱりしたところで宴会。お膳からこぼれる程目の前一杯のご馳走に、すべて込みで五五〇円とは(安い)……とみなの思い。ビール、お酒もたっぷり頂きすっかりいゝ気分になり、演芸、カラオケに一時半もアツという間に過ぎ、たのしいひとときでした。事務局の皆さんが自分の食事時間を削ってのおもてなしに感謝するのみです。本来ならお世話になっているわれわれが慰労しなければならぬのですが、一日も早く各地域、作業のグループ毎に心を合わせ、お互いに協力し合っセンターからの仕事をこなしてゆけるよう組織がためができたらと思っております。

またの旅をたのしみしております。

家庭用電気機器購入のポイント

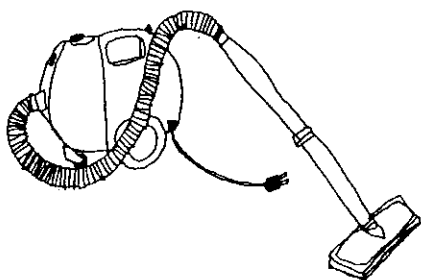
渡辺 益男

第一 購入の時期を選ぶ。電気機器(冷蔵庫、洗たく機など)の場合(冷蔵庫、洗たく機、電子オーブンレンジ、掃除機、エアコン、暖房機など)は量販店(中川無線、星電社、上新その他)などやスーパー(ダイエー、ジャスコなど)の決算期処分セールを利用すること。物によっては半額近いもので良い品物があります。

第二 販売店の打出す特別セールを極力利用すること。特別セールとは創立記念、開店記念謝恩セールなどですが、品物が限定される場合が多いのが第一に比べて不利のようです。

第三 時期を遅らせたシーズン商品を求める。暖房器類は二月から二月末頃にかけて売価がかなり安くなります。同様に扇風機は八月から九月初旬にかけて安値の物が出ます。

以上三点で安値購入の要点を述べてみましたが、いずれの場合でも値段のみにとらわれては危険です。特に大型



トクするページ

当センターでは会員の福利厚生を目的として、各種施設の無料、優待利用をはじめ、百貨店の買物優待など手広く活躍しています。ご利用下さい。

①レジャーランド「ゆーぶる江坂」温泉につきり、のんびりと過ごせる施設で、会員証を提示しますと入泉料が千円(一般千八百円)に割引されます。なお、会員の奥さんかご主人に限り同様の割引があります。
場所：吹田市芳野町五五七

電話 三八九一二六五一
送迎バスの時刻と場所(別表参照)
②映画鑑賞の優待
東宝、松竹、東映などの直営館で会員証を提示しますと料金が小人並みの「シニア料金」千円(一般千五百円)に割引されます。

③そごう百貨店
(割引内容) 受付でシルバー人材センター「会員証」を提示して特別お買物優待券を受け取り店内の売場で購入した時に五割の割引を受けて下さい。割引できない商品：酒類、食堂、地金類、ピアノ、カメラ、美容室及び貸衣裳その他特に

④箕面温泉スパガーデン
(割引内容) 受付でシルバー人材センター「会員証」を提示して下さい。会員証持参会員を含め五名まで適用されます。入場料を九百円(一般千二百円)に割引されます。但し午後五時以降は適用外です。
(受付場所) 箕面市温泉町(別表参照)
(電話) 〇七二七—三三—三三三三
⑤老人福祉センター、老人憩の家などの無料利用(別表参照)

指定する商品

(受付場所) 南区心齋橋別館一階
外商サロン(電話) 二八一—三三—二二
定休日(木曜)(別表参照)

④箕面温泉スパガーデン

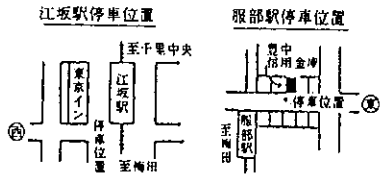
(割引内容) 受付でシルバー人材センター「会員証」を提示して下さい。会員証持参会員を含め五名まで適用されます。入場料を九百円(一般千二百円)に割引されます。但し午後五時以降は適用外です。

(受付場所) 箕面市温泉町(別表参照)
(電話) 〇七二七—三三—三三三三
⑤老人福祉センター、老人憩の家などの無料利用(別表参照)

ゆーぶる江坂

<平日>		ゆーぶる発	
江坂発	服部発	江坂行	服部行
10:00	11:00	11:35	12:30
12:00	13:00	14:05	15:00
14:30	15:30	16:05	17:05
16:30	17:35	18:10	
18:35			

<土・日・祝>		ゆーぶる発	
江坂発	服部発	江坂行	服部行
10:00	10:00	11:35	11:30
11:00	11:00	12:35	12:30
12:00	12:00	14:05	14:10
13:00	13:00	15:05	15:10
14:30	14:40	16:05	16:10
15:30	15:40	17:05	17:10
16:30	16:40	18:05	18:10
17:30	17:40	10:00	19:10
18:30	18:40		



施設	割引内容	受付場所
そごう百貨店	受付でシルバー人材センター「会員証」を提示して、特別お買物優待券を受けとり店内の売場で購入したときに、5%の割引を受けて下さい。 ■割引できない商品 商品券類・クーポン券・たばこ・酒類・食堂・地金類・ピアノ・カメラ・美容室及び貸衣裳その他特に指定する商品	南区心齋橋別館1階 外商サロン ☎ 281-3512 木曜 定休日

施設	割引内容	受付場所
箕面温泉スパガーデン	受付でシルバー人材センター「会員証」を提示して下さい。会員証持参会員を含め5名まで適用されます。 入場料を900円(一般1,200円)に割引されます。ただし、午後5時以降は、適用外です。	箕面市温泉町 ☎ 0727—23—2323

施設名	所在地	電話番号	開館時間	健康相談	趣味教室
千里老人福祉センター	新千里東町1	831-0590	9~17時	火13~15時	俳句・俳画 陶芸・手芸
柴原老人福祉センター	柴原町4	841-5949	(第2、4、5日曜と第1、3月曜と祝日は休館)	木13~15時	押絵・生花 茶道・謡曲
原田老人福祉センター	原田元町3	843-5225		火13~15時	民謡・囲碁 書道・体操
庄内老人福祉センター	三和町3	332-0051		木13~15時	史跡鑑賞
豊南老人憩の家	豊南町西4	331-6880	9~17時	—	—
熊野田老人憩の家	熊野町2	840-2100	9~17時 (火曜は休館)	—	—
府立老人総合センター	吹田市山田北3	876-0031	10~16時 (日・祝日は休館)	火水金 13~15時	老人大学

*指定憩の家(間)：地区会館等の施設の一部を管理者の了解のうえ、老人憩の家(間)に指定し、一定の補助金を交付する制度もあります。詳しくは老人福祉課までお問合せ下さい。

あなたは

お元気

老化と老後の

健康不安

三班 Y・N 生

老化は防ぎきれぬものではありません。老化のメカニズムそれは生物の一生は成長期、成熟期そして退縮(老化)と生理的な過程にあるからです。その老化は何日の頃からということ、人それぞれで詳らかではありませんが、老化の兆しをいち早く知らせてくれるのが、歯、目、まぶたと舌人はいいました。これがある程度生理的な事実とすれば、それを無理矢理に押し止めようとする無駄な努力を避け成人病、老人病の連続の疾病の予防に心がけ、コントロールしていくことこそ大切で、何らかの疾病を野放しにしておくことは、本来の老化に益々拍車をかけることになり、健康で長寿の夢も打ち砕くこととなります。そこで老化を防ぐコツと健康不

安テストを私なりにまとめてみました。

老化を防ぐコツ

- 1 生きるために食べる(頭で)という意識を持つ
- 2 運動のある生活を維持するために投資も惜しまない
- 3 眠り上手で血管を老化させない
- 4 いい空気を吸うことにつとめる
- 5 酒は飲んでも飲まれない
- 6 一病あればこれを素直に受けとめ上手に仲良くつきあっていく

健康不安テスト

- 1 腹一杯食べないと気がすまない
 - 2 その気になっての運動時間なし
 - 3 一週間の睡眠時間が四十時間以内
 - 4 一日の喫煙本数二十本以上
 - 5 酔っぱらうまで飲むことが多い
 - 6 家族団らんの夕食は週三回以下
 - 7 二十代の体重に比較して六kg以上増えている
 - 8 高血圧といわれたことがある
 - 9 家系に脳卒中心臓病糖尿病あり
 - 10 集団検診、人間ドックの経験なし
- 以上
- イエス8以上なら不安度は高く赤信号
3以下なら不安度は少なく青信号
4〜7ならば黄信号 疾病を持たない
為に一度検診を受けましょう

長生をしたい

ために!!

三班 会 員

人間としてこの世に生をうけた以上は誰も長生きしたいと願っていると思う。だからこそ古来から不老長寿の薬が売られ、医師は患者に高度の医療にいとまがない「健全な精神は健全な身体に宿る」といわれているように頑強な身体と精神の維持発展は長生きするための要素で、このいずれかが欠けても吾々はよく生きられない。

達磨大師は長生きし幸せな生活をするために三つのことを守るとよいと論じた。まず第一に「無理をしないでゆっくりやること」という「あわてる乞食はもらいが少い」という諺もあるとおり、慌て、目的に近付こうとする結果的にうまくいかないようだ。無理してやることには気ばかり焦って、肝心なことが疎かになりかえって蛇蜂とらずになってしまふ。第二には「心を冷静にしておかないことだ」という。何事にも腹を立てずに腹を寝かしつけば、隠やかに人からも慕われまさに一石二鳥である。第三には

「すべてのものを善意に解釈して、自分のやることに専念すれば、つまらぬことを心配せずに仕事ができる」という。以上のように「無理しない、怒らない、心配しない」ということは一朝一夕にしてできるものではないが、平常こうしたことを心掛けておれば、外的な事故にでもあわなない限り、ストレスも溜らず病魔を防ぎ長生きできるとい

う。

江戸時代蘭学の杉田玄白(一八一七文化十四年没)という学者も「養生七不可」といって長生きするには七つのベカラズがあるといっている。近世とば一七〇年の時代差はあるものの、訓えには共通したものがある。すなわち一に昨日のことをいつまでもよくよくするな、二に明日のことを今から思い悩むな、三に飲食物は度を過ぎず腹八分をやめておけ、四にちゃんとした物を食べてゲテ物に手を出すな、五に何でもない時に敢て薬を飲むな、六に何事もやり過ぎ、無理してはいけない、そして最後に運動をよくして楽をするな、といっている。

以前ある門前を通りかかったら健康になれる十ヶ条として、次の文句が掲示されていた。

1少肉多菜 2少塩多酢 3少糖多果 4少食多嚼 5少煩多眠 6少衣多浴 7少車多歩 8少怒多笑 9少言多行 10少欲多施

今日の日常生活食生活に共通していることばかりで、ただなるほど感心していないで、吾々が毎日実行できるかどうかにかかっているといえよう。古人の訓えを實踐して今よりも健康で幸せに長生きしたいものです。



胃が がん

原田 天豊

胃ガンの場合、一般には本人に知らせない方がよい——という意見が多いようですが、私の場合はレントゲン写真を見て胃ガンであることを知り、先生と手術の事柄を気軽に話し合えました。家内や子供にも胃の上部にガンがあり、さらに下部にも「カイヨウ」があるので胃を切り取るぞ……と笑って手術室に入りました。

手術二日目には看護婦に身体を動かした方が早く良くなる……といわれ、歩いてトイレに行った。私は胃ガンだ、

養生第一と病院食以外は口にせず、お湯、おかゆと次々に固形食へ進んで食事は自主管理との許可が出たので、家から大根おろしとスープを持って来てもらった。

病院食はまずい——といって幕の内弁当、寿司、刺身、ケーキ、西瓜、アイスクリームなどを食べている人も多かった。「今日はコーヒーを飲みに行った」「外出してコップ酒がうまかった」「タバコを看護婦にみつかるところだった」と自慢話に花を咲かせていた人も退院後、毎週の受診日に一人、二人と来なくなった。

特に親しかった人が二ヶ月後再入院され、次の週に見舞いに行ったところ名札が外されていた。原因が何か解りませんが、本人がガンであることを知っていたらもっと摂生されていたのではないかと残念です。

あるいはガンであるから本人の好きにさせたのかも知れませんねえ。私はガンは本人に知らせるべきで、家族には知らせない方がよいと思う。本人の口から言うべきである。

海軍航空隊時代、特攻隊出撃は本人に知らせて本人の口から「俺は行くぞ」と出て行く。それが本人が知らないで

飛び出したら燃料は片道分だった、あれっと思つたら特攻機に乗せられていた——というのも考えものだ。

「俺はガンなのだ」と強い心を持つことです。私のガンは三年生きられたら……と思つていたのが五年も生きていく。毎日精一杯の仕事をして汗を流し水をガブ飲みし、腹が空いて食事が待

ち遠しい。夜は疲れてぐっすり寝る、一日も休まず、週末は大自然のおいしい空気を吸い、無農薬の野菜を作つて食べ、知事賞を戴いた友情の森づくりのように働いています。

海軍航空隊生き残りの人生、世のため人のため生命ある限りがんばりましょう。

短歌

三班 Y · N 生

萌草の果てに夕べの星空が

ちかぢかとして低くも見ゆる

茜さす入日は遠き藍山に

沈まんとして小波照らす

蝶ひとつあてもなく来てわが庭の

眺めの動く春さりにけり

庭先にひとつの蝶が見えて白し

いつかふたつとなりて遊べる

うつ伏して目を落したる岩はだの

線のうるめる海の黄昏



会員寄稿欄

六十の手習い

毛筆講習会に

参加して

松下康子

九月十四日発行の二十二号シルバー事務局だよりで毛筆講習会の開催を知り早速手紙で申込んで十月二十七日を待ち兼ねておりました。初めてのことで前日は必要品を用意して小学生のように枕元において寝みました。

いつもに似ず今朝は飛び起きて仕度をし福祉会館へ出かけました。顔なじみの方達も二、三人見えて懐かしく挨拶を交わしましたが、宮崎理事さんが先生とのこと、下手な字をお眼にかけるのが恥かしく少し後悔しました。でも「楽しく勉強しましょう」とご挨拶なさり、日頃お世話になる岡野さんや寺本次長さんまでが私達にお茶を運んで下さったりで全く恐縮してしまいました。

先生も一人一人に朱筆で訂正して下さい、とりわけ毛筆の苦手な私に少しも恥かしい思いをさせないよう、子供を諭すような教え方をして下さいとでも気が楽になりました。先生が熱心に要領を教えて下さり「幾万字書いても唯書くだけでは上達しません。ポイント、ポイントを教えてもらいお手本通り無心に書くことです」と仰った時、本当にその通りだと痛感いたしました。

帰宅して用事も済ませ墨をすり始めましたが時の経つのも忘れ夜半の二時、先生の書いて下さった自分の名前を見ながら書き続けておりました。二日目、先生は「昨日初めて皆さんの字を拝見した時よりずっと字が見違える程になり驚きました」と仰言いました。本当に前より上手になったように思えて来ましたが不思議です。

時間がすぐ早く経ってしまいます。午後から一時間ほど勉強して懇談に移りました。隣の女の方が先生に要点を尋ねていらっしやいましたが、先生も「時間がなくてなかなか教えきれません。事務局の方へ私のいる時は何時でも判らないことは尋ねて下さい」とお答えになりました。私はそれよりこ

のような機会をもっと作って欲しいと思ひ、発言するのが気違いましたが、先生にも次長さんにもこの二日間だけですっかり親しみを感じましたので思い切ってお願ひ致しました。

次長さんは「沢山の方々のご要望があれば考えましょう」とのことでした。私も初めは悪筆を恥じてちょっと後悔しましたが、一度この受講の折の和やかな雰囲気を感じましたら決して不安な思いのないことが感じられ、六十の手習いでも七十になっても勉強させて欲しいと思ひました。一日や二日では上達はしなくても有意義な日を過ごせましたことを本当にうれしく、これからは充実した日を送ることが一番生きるうえで大切なのではないかと思ひました。先生に教えて戴きました習字の三原則を思い起こして心して字を書くよう努力致したく存じます。

先生、次長さん、職員の方々、お忙しい中、本当に有難うございました。受講なさいました皆様にもまたお逢い出来ますよう、心待ち致しております。



サークル活動の第二步

原田幸治

二月七日十四班会員中の同好の男女四名、午前九時三十分箕面駅集合。今日の天気は 最高気温六度の予想と、朝のテレビはいう。しかし晴天、好天気である。

駅には、ボーイスカウト多数、中年の男女、初老の人、外人夫婦等々……。

定刻出発、滝道を外れて、西江寺へ向う。境内で初老の夫婦に出逢い、挨拶を交わす。山道をみのお山荘に向う。十時三十分山荘着、山荘よりの眺望、絶佳なり、夜景は頗るつきで、綺麗だろう。コーヒーを飲み出発、この頃より小雪が舞いはじめる。箕面ダムのあたりで雪が本降りになる、ダムの上へ出た。オッ!!と息をのむ、無風状態ボタン雪が大空一杯にひらひらと舞いおる。その風情の美しいこと、遠く山並、湖水面、ダムの堰堤の幾何学模様がぼんやりと、まるで一幅の墨絵のようにかすんで見える。我等四名、一斉に「きれいだ!」と感嘆の言葉、暫し寒さを忘れて立ちつくす。

この景観に出逢ったよろこびを皆で

語り合う。もし、絵心のある人が見れば、千金を投じても悔いはないであろう。

雪の中を歩き出す、処女雪を踏みしめる、サクサクと心良い音、空腹を覚えるが、休憩場所なく、雪の中を歩き続ける。ようやく目的地藤尾寺に到着、昼食をとる。歩いていっているうちは暖かいが、止まると寒い。食事中に雪が止む。十四時「政の茶屋跡」を通りみのお滝へ、十六時、箕面駅到着。駅前喫茶店で熱いしるこをすすりつつ今日の幸運を語り合う。

本日の行程十八K、山あり、谷あり、雪あり、木洩れ陽、等々、千変万化の景観、まれに見る好機であった。

なお、老人は歩くのが一番、機会を見つけては山歩きに出かけ、心身を鍛練し、これを日常の生活にも、シルバーの作業の上にも活用していきたいものと、語り合いつつ解散す。



よもぎ

三班会員

野や山に見られるキク科の多年草。葉の上面は深い緑色で、下の面は白色の綿毛が密生している。秋には小形の頭花をつけ、本州や九州に多生し韓国、朝鮮に分布している。ニシヨモギやヤブヨモギなどがあり区別のむづかしい植物でもある。

よもぎには邪気を払う力があり、これを食べると寿命が延びるといふ中国

の思想から起って、三月三日の節供(句)に米の粉に入れて草餅にするので、モチグサともいわれている。草餅は昔 春の七草の一つハハコグサ(一名ゴギョウ)畑、田、人家の近くに群生するキク科の越年草、このハハコグサの葉も餅に入れて、草餅として用いたものらしいがやがてこれに代ってよもぎが用いられるようになったという。また五月五日の節供(句)には、アヤメグサ(現在の菖蒲)と共によもぎを挟む風習が行われていたことが知られ

ているのも、健やかで邪気を払うためといわれている。日本名でよもぎと呼ぶ名のほかに、モグサ、サシモグサなどの別名があって、(萌えいずる)この草が群生して、上の葉を揉み下面の葉裏の白色の綿毛を残し、これを集めて灸の時に使うのでモエグサすなわちモグサとなつたもので、サシモグサのサシは灸をすえるということである。

私の念仏と晩酌 西田貞義

承知しました



この封書登録会員へ届けてください。



母校の前を通ると夕暮どきですからつい「夕焼け小やけ」の童謡を歌いたくなりますなー。



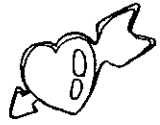
シルバー事務局から配分金等の封書を持って参りましたでー。

シルバー事務局へのご意見など聞かしてくださいヨ。



配達終ってー
夕食前 1日の無事をご先祖様へご報告……。
南無阿弥佉仏……。
でも食卓のあつかんに心魅かれ、気もそぞろー。

フルムーン



谷脇次男

今までを振り返って見れば、会社勤務中は生産、能率、品質に追いまぐら、息抜きといえば、親しいグループでの会食や、車での旅行であった。休日を利用しての、一泊旅行がせいぜいであるが、名神、東名のドライブ旅行、日本海や太平洋側の海の旅、歴史を訪ねての旅等、その都度、家内と二人で行く時の下見をしてくるから、と云ってきた。

そして、ようやく長い間勤めた会社も停年をむかえ、懐しい顔、顔に送られて会社の門を後にした。私の気のがめか、近頃、家内の目が下見の実現(旅行)を迫っているように感じられて仕方がなかった。

そんな或る日、新聞に旅行会社の『南九州フルムーン』の広告が目についた。その内容を一目見て、躊躇することなく、参加を決めたのである。

サンフラワーに乗船し、三泊四日の旅へ、志布志港での迎えのバスは、思

い出の宮崎交通であった。

桜島の噴煙を横目に、鹿児島へ、開聞岳で記念の植樹、ホテルのジャングル風呂で汗を流し、ハワイアンショーを見る。翌日は、磯庭園から霧島神宮へ、お守を戴いて、硫黄温泉の白い煙の立ち込める、えびの高原へ、低気圧の悪戯による樹氷をバックに、カメラのシャッターを切る。

バスは一路宮崎へ、早春の陽気に加え、運転手とガイド嬢の優しい接客態度が、車内の雰囲気最高のものにした。笑顔にみちたガイドの手から、マイクが、乗客にバトンタッチされ、上手下手にかかわりなく拍手が送られ、一層楽しい一刻を作り出した。

そしてマイクが私の席に、浮かれた私の手が躊躇なくそれを取ろうとした。その時、お尻が「ピリ」と飛び上る程抓られたのである。悪い声で下手な歌は止めて、恥かしいから、と、顔を伏せた家内の指がそうさせたのである。

その痛みに堪えて、マイクに声に移った……。雨は降る降る 人馬は濡れる 越すに越されぬ 田原坂

「田原坂」と「黒田節」は一番好きな歌である。車内の盛り上った楽しい雰囲気がマイクを持たせ、下手も又一

興と、勇気づけたのであった。バスは乗客の秘めた色々の思い出を乗せて宿舎のホテルに着いた。

夕食事に、デュークエイセスと中原美紗緒の歌と踊りに、場内は桜島の噴煙にも負けぬ熱気が漂よう。テーブルでフォークとナイフを使い乍ら、各々のカップルは、互に不自由な、物の少い新婚時代を忍んだのではなからうか。

翌日は、青島、サボテン園、絶壁の海岸から勇壮な黒潮を望む鶴戸神宮を参拝して、一路空港へ。

マイクの件は別として、家内も満足して呉れたのはよいが、下見の履行は何時のことやら？、一括返済でハワイへの発想もあるのだが、外国旅行に全然魅力を感じない自分にとって、先ずは健康に努め、急がず、慌てず、と開き直った今日この頃である。

編集後記

◎桃の節句も終り、もうすぐ春です。

とは言っても、まだまだ寒い日が続いています。『ふれあい』第七号を、やっ

と、みなさまのお手許へお届けする運びとなりました。

◎長い間念願だった、会員の手による会誌づくりが、理事の西田貞義氏、監事の西川芳一氏、会員の熊田潔、金子勝蔵、野口高茂各氏のご協力により、本号から実現しました。今後、色々とご苦労をおかけすることと思いますが、よろしくお願い申し上げます。

◎本号にご寄稿いただいた方々に、厚くお礼申し上げます。企画や、ご意見、ご寄稿等、今後一層のご協力をお願い申し上げます。

◎編集会議の末、「会員が得をする頁」「健康のページ」を採り上げることにになりました。情報が少なく、まだまだですが、それでも、映画の鑑賞割引」と言う収穫がありました。編集者も情報収集を心がけますが、みなさまも、これはと言う「耳よりな情報」があれば、編集部(事務局)あて、お送り下さい。

◎この季節、巷では、花粉症が大流行、健康には十分気をつけて。

